

## 「丸瀬農場」（留萌市）におじゃましました！

今年の4月には、JA 南るもい花き生産組合の組合長中原さんの農場を取材させていただきましたが、今回はその組合員でもいらっしゃる丸瀬さんの農場におじゃましました。

### □丸瀬農園設立の経緯

今回、取材させていただいた丸瀬農場は、留萌市東大和田に位置しています。以前は水稲とトマトの栽培を行っていましたが、昭和58年ごろから、花き専業農家へと転換しました。身体への作業負担が少なく、目で見えて楽しむ作物へ転換をしたそうです。作業は農園主の丸瀬勉さんと奥さまの2人で全てまかなっているそうです。



生産者の丸瀬さん

### □種類が豊富な生産体制

丸瀬農園では、数多くの品種を生産しています。トルコギキョウ、デルフィニウム、ひまわり、アリウム、ブプレウルム、ディデイスカス、ラークスパー、花壇苗など。出荷は4月上旬～11月の終わりまで行い、ハウス20棟、約1haを維持されています。取材をさせていただいた9月はちょうど出荷の真っ最中！たくさんの花がハウスを賑わせていました。お忙しい中、お話を聞かせていただいて、本当にありがとうございました。



ハウスの中で咲き誇るトルコギキョウ

□やはり苦労も・・・

花き生産の苦労は？と伺うと、「連作障害」が一番の悩みの種だとか。連作障害とは、同一の圃場で同一の作物を繰り返し栽培することで次第に生育不良となっていく現象です。ハウスという限られた空間の中で、花き生産を続けるのにもご苦労があるのですね。また、東大和田は留萌市内でも雪の多い地域。冬場は1m50～60cmを越える降雪の中、ハウスを維持されるのも大変な作業とか。

□今年の夏は・・・？

今年の夏は、北海道は記録的な残暑！花き生産にも影響が・・・？と伺ったのですが、今年は春～夏にかけて低温になることもなく、気候が順調に推移したため、苗がしっかり根を張れたとのこと。その根から土壤の水をちゃんと吸えたため、大きな影響はなかったとのこと。「たくさん、水をまいたけどね」とのお話。「一番へばったのは、花じゃなくて人だわ。」とのこと。そうですよね。



収穫された花き



選花作業

□丸瀬さんのお花は・・・

ハウスで収穫された花々は選花作業の後、市場、JA、種苗卸へ出荷されますが、実は留萌市内でも購入することができます。A-COOP 留萌「ルピナス」では生産者から直に納品された花を購入することができます。鮮度もよく長持ちがすると、入荷してもすぐに売り切れになるほどの評判です！留萌へ遊びに来た際には、ぜひ花もチェックしてみてくださいね。



ガーベラ

(平成24年9月取材 留萌振興局農務課)